

チャノキイロアザミウマ情報第3号

平成24年7月2日
愛知県農業総合試験場
環境基盤研究部病害虫防除室

1 発生の状況

蒲郡市と南知多町のカンキツほ場に設置した黄色粘着トラップによるチャノキイロアザミウマ成虫の誘殺数は、6月中旬に急増しました（下図）。東浦町のブドウほ場では、6月第3半旬に第2世代成虫の誘殺数がピークとなりました。

ほ場周囲のイヌマキ（防風垣）におけるチャノキイロアザミウマの生息数調査（県内カンキツ22ほ場およびブドウ12ほ場の10新梢の払い落とし虫数）では、カンキツで7.5頭（平年14.3頭、前年5.8頭）、ブドウで2.6頭（平年5.0頭、前年4.8頭）となり、どちらも平年並の発生量となっています。

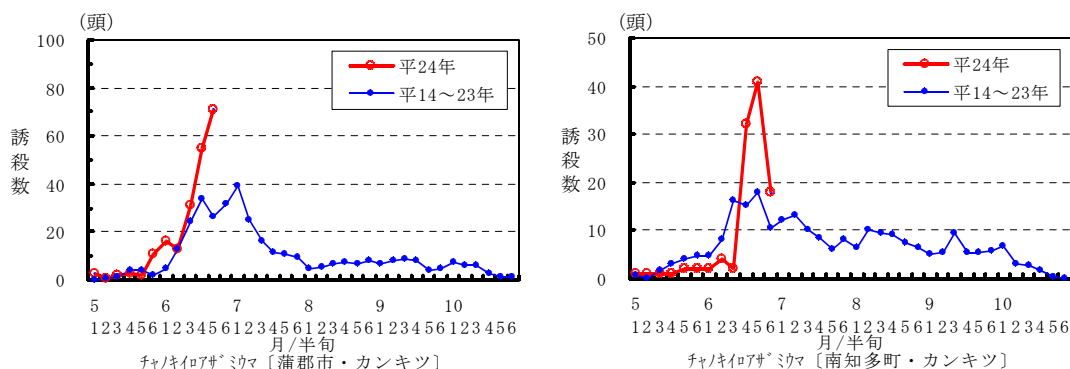


図 黄色粘着トラップによるチャノキイロアザミウマ成虫誘殺状況

2 発生ピーク日の予測と防除

例年、7月に第3世代（中山間地域では第2世代）成虫の発生ピークを迎えます。成虫の発生ピーク時の農薬散布が効果的であるため、発生の多いほ場では、有効積算温度を利用したチャノキイロアザミウマ成虫の発生ピーク予測日（表1）および防除薬剤（表2）を参考に防除しましょう。

表1 チャノキイロアザミウマ成虫発生ピークの予測日（JPP-NET）

	愛西	東海	南知多	名古屋	豊田	岡崎	蒲郡	豊橋	新城	伊良湖	稲武
第1世代	5/24	5/19	5/24	5/20	5/23	5/25	5/22	5/22	5/26	5/22	6/14
第2世代	6/20	6/16	6/20	6/16	6/20	6/22	6/19	6/19	6/23	6/18	7/13
第3世代	7/12	7/08	7/13	7/08	7/12	7/14	7/12	7/11	7/15	7/11	8/05
第4世代	7/29	7/26	7/31	7/26	7/31	7/31	7/30	7/30	8/03	7/29	8/26

※アメダス平均気温を利用しています。各地の気温は7月1日までは実測値を、それ以降は、豊橋では前年値、それ以外の地点では平年値を用いて計算してあります。

表2 チャノキイロアザミウマの主な防除薬剤

作物	薬剤名
カンキツ	モスピラン顆粒水溶剤
	アドマイヤーフロアブル
	MR.ジョーカー水和剤
	ベストガード水溶剤
ブドウ	アディオン水和剤
	コルト顆粒水和剤
	ダントツ水溶剤
カキ	MR.ジョーカー水和剤
	アドマイヤー顆粒水和剤
	モスピラン顆粒水溶剤
	アグロスリン水和剤

農薬の散布にあたっては、ラベルの表示事項を守るとともに、他の作物や周辺環境への飛散防止に努めましょう。